

4. 雄勝町渚泊推進協議会（宮城県石巻市）

～石巻市雄勝町の漁業を活かした交流人口拡大プロジェクト～

① 取組背景・地域課題

- 石巻市雄勝町は震災後、津波で甚大な被害を受けたことによる人口の流出が顕著な地域である。このため、**地域の魅力を活かした人を呼び込む新しい漁村のあり方**を実現していくことが喫緊の課題である。
- 2017年に渚泊推進協議会を設立し、企業や復興支援団体との連携の下、交流人口増加に向けたコンテンツ開発や受入体制の整備を進めてきた。
- コンテンツ開発には各自治会（浜）との協力関係が不可欠だが、観光振興に対する温度差があることから**各自治会の特長を活かした連携体制の構築**が求められている。

② 支援体制

コーディネーター
(支援事業者)

(株) イミカ

外部専門家
連携団体等

- 石巻市役所
- 石巻市雄勝総合支所
- 町内各自治体
- モリウミアス等関連団体

③ 本事業の目的と取組内容

地域住民の協力を得て漁業・漁村体験を実施するとともに、町内の各自治会（浜）と連携しながら観光振興を推進していくための体制構築を行い、地域の交流人口拡大を図る

取組① 漁業・漁村体験の実施におけるコンテンツ開発

- 町内の各自治会（浜）や関係団体と連携を念頭においた漁業・漁村体験プログラムの開発を行う。
- トイレ不足の解消などの観光スポットの環境改善、宿泊・飲食施設の整備、Wi-Fiスポット・外国語案内など訪日外国人観光客も視野に入れた観光インフラ整備が進められる予定であるため、これらも活かしたコンテンツ開発を進める。

- 自治会や関連団体と連携したプログラムの開発(3件程度)
- ターゲット層や有識者を招いたモニターツアーの実施と、結果を踏まえたプログラムのブラッシュアップ(1件以上)

取組② 地域の協力を得るための町内各自治会との協力体制の構築

- 町内15自治会（浜）の状況を踏まえた協力・連携体制を構築する。
- 雄勝総合支所など、行政との協力体制を構築する。また、当協議会が安心感を持って協力・連携できる団体として認知してもらうことができるよう関係性づくりを進める。
- 組織や立場に依らないキーパーソンや協力者との関係構築を行う。

- 当協議会との協力関係のとりつけ(7件程度)
- 上記地域でのプログラム試行(2件程度)